



学年主任挨拶

学年主任 前田 芳博

「普通の神様」のメッセージ

昔から正月三が日は「特別な日」と言われております。そんな「特別な日」は1年365日の中にいくつもございます。

国民が一斉に祝う「祝日」もあれば、結婚記念日や誕生日など個々人の記念日もそうですね。普段とは違う「特別な日」を皆さん、どう過ごそうかとあれこれ考えます。できるだけいい思い出が残ることをしたいと思うわけです。

ところで、「特別な日」とそれ以外の「普通の日」はどちらが多いか。そりゃ「普通の日」ですね。ならば「普通の日」も「特別な日」同様、「今日も最高の日にするぞ」という意気込みで過ごすのはどうでしょうか。禅で言うところの「日々是好日（にちにちこれこうじつ）」です。

たとえ先生に叱られた日であろうと、テストで失敗した日であろうと、夜ベッドに入ります時に、「今日は大事なことを教えられたな」などと呟いて、その日を終わられたら、その日はいい一日だったということになります。そんな日が毎日続いたら、その年はいい1年になること間違いなしです。

さて、皆さんは「特別な人」ですか？それとも「普通の人」ですか？ほとんどの人が「普通の人」ですよ。健康状態も普通、学校の成績も普通、飛びぬけて得意なスポーツもなく、大きな成功もなければ、大きな挫折もないはず。天から授かったもの、それは生まれつきの「普通」だったのです。

ところで、昔から日本は「八百万（やおよろず）の神の国」と申しまして、我々の先祖はどんなものにも神様が宿っておると信じておりました。好きな人ができたら「恋愛の神様」に、受験生は「学業の神様」に願い事をしております。「そうであるならば、きっと「普通の神様」もいらっしゃるのではないかと思うのです。すなわち、「普通の人」を応援する神様です。問題は、「普通の神様」は普通の人にどんなメッセージを送っているのか、メッセージは二つございました。

一つは、「普通に感謝しなさい」「何も特別なことがなく終わった一日に深く感謝しなさい」でした。これ、なかなかしていませんね。

もう一つは「普通のレベルを上げなさい」でした。「普通」というのは普段やっている習慣です。朝洗面して歯を磨く習慣。ご飯を食べる前に手を合わせる習慣。出勤時間ぎりぎりまで寝ている習慣等々。

この普通にやっているレベルを上げる。つまり、「質の高い習慣を作れ！」ということです。たとえば、トイレ掃除をする習慣、毎朝今より30分早起きする習慣、ゴミを拾う習慣等々。

「習慣を変えると人生が変わる」なんてことをいいますね。なぜなら人生は習慣でできているからです。

というわけで、普通の人には、「今日もいい日だった」と一日一日に感謝しながらも、普通のレベル、即ち、「習慣」をレベルアップさせて、自分の成長を楽しみましょう。

一部「日本講演新聞」からの抜粋

.....切り取り.....

【コメント記入欄】

